

豊前市外二町清掃施設組合

2月21日、組合議会は平成29年第1回定例会を開催し、平成29年度一般会計予算及び平成28年度補正予算などを審議し、全会一致で可決しました。

平成29年度一般会計予算

歳入歳出総額 4億6636万円 (前年対比△5.7%) △2837万円

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	3億5800万円 (上毛町7723万円)	総務費	1172万円 (職員手当等)
使用料及び手数料	8457万円 (廃棄物処理手数料)	衛生費	3億3128万円 (塵芥処理・清掃総務費)
財産収入	2190万円 (資源物売却収入)	公債費	1億1956万円 (長期債償還元金・利子等)

平成28年度補正予算(第2号)

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
使用料及び手数料	756万円 (廃棄物処理手数料)	総務費	97万円 (財政調整基金)
財産収入	260万円 (資源物売却収入)	衛生費	4395万円 (ごみ処理施設整備基金)
基金繰入金	△1600万円 (財政調整基金繰入金)		
諸収入	349万円 (有償入札拠出金等)		

◎ 条例の一部改正(発議)

一般廃棄物の処理手数料(直接搬入される樹木・草等及び事業活動に伴い生じる一般廃棄物)の改定を昨年11月臨時会で全会一致により可決した。今年に入り、豊前商工会議所より一定期間の増加分の免除や助成、段階的導入に向けての配慮を求める要望書が提出された。全員協議会等を開催し、状況の把握に努めた結果、広報の方法、時間不足に要因があり、住民、事業者への周知が完全ではないため、附則の施行日を変更する。賛成多数で可決された。

附則 平成29年4月1日施行→平成30年4月1日施行

※既に平成29年度一般会計予算が可決(分担金を5100万円減)した後の発議で、手数料増加見込分約3800万円の歳入不足が見込まれる。

吉富町外1町環境衛生事務組合

2月23日、組合議会は吉富町フォー・ユー会館会議室で平成29年第1回定例会を開催し、平成28年度補正予算及び平成29年度当初予算などを審議し、全ての議案を全会一致で可決しました。

平成29年度一般会計予算

歳入歳出総額 7511万円 (前年対比△2.2%) △168万円

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	7041万円 (上毛町3698万円)	議会費	44万円
使用料及び手数料	451万円 (火葬場・し尿処理場使用料)	総務費	1851万円 (人件費等)
財産収入	15万円 (建設基金利子)	し尿処理場管理費	3966万円
		火葬場管理費	1596万円 (南エイト委託料含む)

平成28年度補正予算(専決第1号)

162万円追加(補正後の歳入歳出総額 7841万円)

歳入では27年度の繰越金162万円、歳出では、し尿処理場更新計画処理方法比較検討業務委託料(日本水工設計株)

平成28年度補正予算(第1号)

363万円追加(補正後の歳入歳出総額 8205万円)

歳入では27年度の繰越金363万円、歳出では積立金985万円、共済費△28万円・委託料△98万円・し尿処理場管理費不用見込み額△387万円、火葬場管理費不用見込み額△108万円)



下関市豊田町農業公園「みのりの丘」視察研修 大山 晃

2月15日(水)に、下関市豊田町へ研修に行った。下関市は平成17年の合併(下関市、菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町)により人口301,097人になった。

地域の気候を活かした美味しい米、果樹、野菜など農産物が豊富にあり、農家などと連携して新鮮で安全な農産物の生産、農産加工品の開発を行っている。また、これらの有利販売「農業の6次産業化」を目指して農家の所得向上と農産物の活性化を図っている。

下関市豊田町農業公園「みのりの丘」は、自然の中で農業の最大の歓びである「実り」の体験を中心に、地域住民に親しんでもらうと同時に、温泉や湖などの自然資源と観光施設を連携し、また、美しい田園風景や伝統文化など地域資源を活用しながら、都市と農村の交流を目指している。農家の高齢化に対し、農作業の受託、新規就農者育成・研修の場、農業情報の受発信の場としての機能も備えている。



農業公園内の9施設を視察

- 温室ハウス、各ハウス1,080㎡、イチゴ(高床式養液土耕栽培) ほうれん草(水耕栽培)は、大平村時代に視察に行ったときは栽培していたが、現在は不具合が多くミニトマト(養液土耕栽培)に切り替えていた。実際にイチゴ、ミニトマトの試食をしたが、糖度が高く美味しかった。販売も好調で、イチゴ狩りなども行っていた。
- 果樹では、梨・ぶどうの生産を行っている。梨は鹿の被害が多いため平仕立てではなく高伸ばし仕立てで栽培した結果、被害は減少した。ぶどうは収益性が低いということである。
- 肉用牛繁殖肥育センターでは、肥育牛20頭、繁殖牛30頭を飼育。黒字で推移している。
- その他、イノシシ、鹿の処理加工場を視察し、実際にイノシシの解体を見学した。1日の持ち込み頭数が、14から20頭あるということに一同驚いた。これらの施設は、指定管理制度で運営している。

